



# 咲む

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画

『咲む』上映会ニュース 2021年3月1日 No.7 発行：全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画上映推進委員会



## 滋賀県

## 2月14日栗東芸術文化会館さきら上映会

2月14日（日）、湖南地区(草津市聴覚障害者協会、栗東市聴覚障害者協会、守山市聴覚障害者協会、野洲市聴覚障害者協会)の4団体で構成)主催による上映会が、栗東芸術文化会館さきらにて開催され、午前の部・午後の部合わせて155名の方々にご来場いただき、『咲む』をお楽しみいただきました。



今回も新型コロナウイルス感染対策として、会場の消毒や座席のソーシャルディスタンス、来場者の検温と消毒などの徹底や連絡先カード記入を行い、午前、午後の2部で155名の参加者を迎えました。スタッフ一同、連携のおかげで事故もなくスムーズに終わることができました。鑑賞者からは「とても感動しました」などのメッセージをいただきました。

### —感想—

- ♥泣けた。「ありがとう」という言葉の重みを感じた。音が急になくなる場面があり、きこえる人がきこえない世界を経験できる演出が良かった。
- ◆最後が、はっきりと解決策を出すのではなく、見ている人に考えてもらうような終わり方でよかった。
- ♣「壁は乗り越えてない。そのまま歩いていだけ。」の言葉に感動。皆と一緒に考えていくというのが素晴らしい。苦しいまでも、出来ることをお互いに支えあっていく生き方が良かった。
- ♥とてもいい映画だった。心にグッときたし、考えさせられることもたくさんあった。いろいろ気を配って開催していただきありがとう。
- ★ろう者の就職は厳しいですね。やはり手話通訳必要だと思う。普通に仕事ができれば、手話言語条例制定後にどうするか考えなければならない。ろう者だけの手話ではなく健常者に対しても必要だと思う。
- ♪いい映画だった。思わず涙がでた。父親と一緒にいこうと言ったとき。
- ★コロナ禍の中、行くのを迷ったが、対策も万全で安心してみれた。
- 差別はなくなっていないけど、みんな障害持ちながら頑張ってる姿に感動した。
- ★障害者に対する偏見があったらと思うけど、お互いに助ける助けられるの関係を持てば、みんな笑顔になれるのだなと思った。まさにタイトル通りの「咲む」だった。
- ♥息子が子供を持つのを反対した…という苦しい気持ちを持っていたお母さんと息子の絶縁関係を、聴覚障害の孫が再び繋いでくれてよかった。
- ♠きこえないことをハンデと思わない積極的な性格の女の子が、周りの人々を明るく変えていく。とはいえ、自分が落ち込むこともあるが、周りに徐々に救われる。人は、お互いに支え合って、生きているんだなと。自分の行動が周りに影響を与えるという事を、心に留めておきたい。また、周りに目をやって、人の気持ちに気づけるようになりたいと思った。





# 石川県



# 2月13日にぎわいの里ののいち上映会

2月13日（土）、映画『咲む』野々市市上映会実行委員会主催による上映会が、にぎわいの里ののいちカミーノホールで開催され、午前・午後合わせて51名の方々にご来場いただき、『咲む』をお楽しみいただきました。会場側の備品準備漏れや、音響調整の不具合、事前打ち合わせ内容を当日に変更依頼されるなど、予期しない事態が発生しましたが、臨機応変に対応することができました。

『咲む』についてはご来場の多くの皆様から、大変いい内容だったとのご感想を頂戴しました。

また、会場に盲ろう者お二人が参加され、触手話通訳で『咲む』をお楽しみいただきました。

盲ろう者通訳・介助員の皆様のお話全文は今後の地域上映会の参考として別途配信提供させていただきます。

### —盲ろう者—

◆盲ろう者役の石黒さんは以前栃木におられ、お会いしたことがあり、よく知っている。触手話通訳を受け、映画の家族構成や物語の流れがわかった。ろうの両親の娘（ろう）が看護師の仕事を探したが決まらず、村の役場へ入った。積極的に村人を援助する仕事をし、通訳も受けながら頑張った。両親と祖母が無視しあい、対立していたが、最後は心が通じ合って良かった。

♥盲ろう者役の石黒さんとは全国盲ろう者大会でお会いしたことがある。石川の北野さんも夫婦役で出演されていて嬉しかった。ろうの家族の苦しみ、悩みがよくわかり、最後はわだかまりも解け、涙が出た。画面も見ることができて良かった。

### —盲ろう者通訳・介助員—

◆連盟の資料は、必ず伝えておくべき大切なポイント・登場人物の表情や心情が細かく記載されていて、とても理解しやすいものでした。ただ、やはり場面設定、登場人物、誰のセリフなのかなどを分かりやすく説明しようと思うと、場面展開に間はあるものの難しかったです。映画上映の前に、簡単な流れや状況・ストーリーを説明しておいた方が、イメージしやすいのではないかと思います。

弱視の盲ろう者も画面が見えるように通訳者用のモニターを準備して下さったのはよかったです。



# 神奈川県



# 2月6日麻生市民館ホール上映会

2月6日（土）、川崎市麻生区聴覚障害者協会共催による上映会が、麻生市民館ホールにて開催され、60名の方々にご来場いただき、『咲む』をお楽しみいただきました。

ホール内の販売は禁止されていたので、物販・募金活動ができなかったことは残念でした。



## ◆◆◆ 地域上映会 ◆◆◆

- 1月30日（土）、奈良県大和高田市聴覚障害者協会主催による上映会が、大和高田さざんかホールで開催され、78名の方々にご来場いただきました。
- 1月31日（日）、神奈川県秦野市聴覚障害者協会主催による上映会が、秦野市文化会館小ホールで開催され、206名の方々にご来場いただきました。秦野市ろう協としては大規模イベントなので、ろう協会員、手話サークル、通訳者らの協力のもと、スムーズに進めることができました。秦野市長、衆議院議員、県議会議員、市議会議員にも鑑賞していただきました。
- 2月13日（土）、三重県聴覚障害者協会主催による上映会が、三重県総合文化センター生涯学習棟大研修室で開催され、理事・幹事・職員17名に鑑賞していただきました。今後の地域上映活動のための選考上映でしたが、多くの方が涙されていました。

★『咲む』募金状況★  
(2021年2月26日)

1,106,209円  
(目標20,000,000円)

奈良県大和高田市上映会で 22,237円 募金を頂戴しました！

上映会会場での募金活動のご協力とご報告をお願いします！！